

茎数確保！作溝・中干しで生育制御！ 暑い夏に耐えられるイネづくりを！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎今後の気象

6月25日発表の2週間予報では、今後も気温の高い予報となっています。また、6月24日発表の3か月予報では、7月から9月は高温となる予想で、厳しい登熟条件になると見込まれます。

◎生育概況

6月25日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、茎数はやや多く、草丈、葉数、葉色は平年並みとなっています。ほとんどの圃場で有効分げつ決定期を迎えたとみられます。

平坦部「はえぬき」の生育（6月25日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈	41.8 cm	40.8 cm	102	平年並み
茎数	555 本/m ²	535 本/m ²	104	やや多い
葉数	8.9 枚	8.8 枚	+0.1	平年並み
葉色 (SPAD)	42.3	42.0	+0.3	平年並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎当面の技術対策

今後の暑さに打ち勝つためには、「作溝・中干し」をしっかり行って無効分げつを抑制しつつ根の健全化を図り、穂肥に向けた生育診断を適期に行うことが重要です。

（1）適期移植の圃場では有効茎数確保済み！直ちに作溝・中干し！

適期に移植した圃場では、有効茎数（「はえぬき」：内陸 480 本/m²、庄内 540本/m²）がほぼ確保されています。直ちに作溝・中干しを行って、生育を制御しながら充実した茎を確保し、穂肥がしっかり行える稲姿にしていきます。

中干しの程度や期間は、地力や生育量、天候に応じて調節します。地力が並みで、生育量が指標並みの場合は、7～10日間を目安に小ヒビが入る程度に行います（右図）。地力が高く生育量が過剰な場合は、11～15日間を目安にやや強めの中干しを行います。



小ヒビの入った圃場

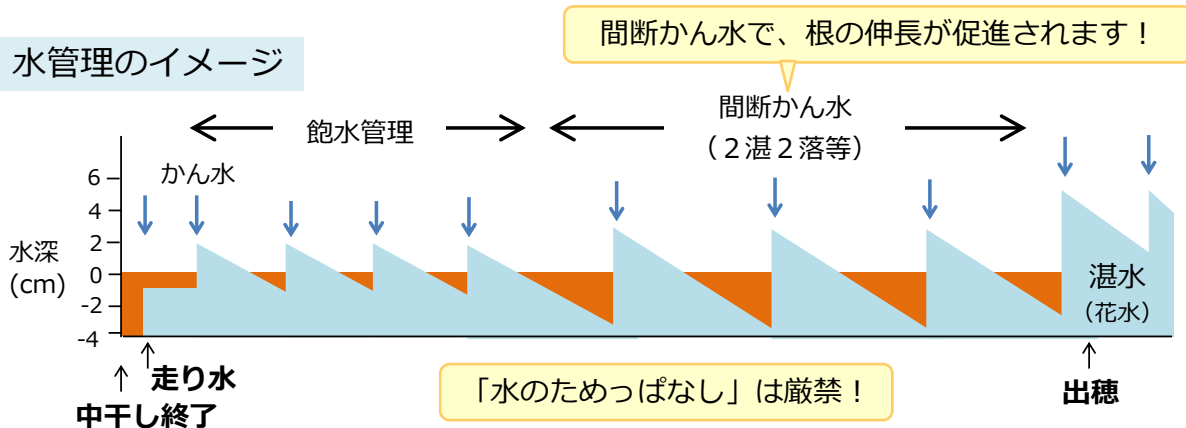
（2）茎数不足の圃場でも、7月に入り次第、速やかに作溝・中干しを！

茎数が不足している圃場では、引き続き水深 2～3 cmの浅水管理として日中は止水し、分げつを促進します。7月に入ったらすぐに作溝・中干しを開始しましょう。

(3) 中干し後は「飽水管理」「間断かん水」で根をしっかりと張らせる！

中干し終了後は走り水を行って飽水管理とし、徐々に間断かん水に移行しましょう。湛水状態が続くと、土壌の還元が進んで根へのダメージが大きくなります。今年は高温が続く予報となっていることから、特に注意が必要です。

水管理のイメージ



効率的な水管理には「作溝」が不可欠です！

白未熟粒の発生を抑えるための「登熟期の飽水管理」にも作溝が必須です

(4) 病虫害対策 ～カメムシ対策の徹底！葉いもち発生に注意！～

6月25日発表の予察情報によると、斑点米カメムシ類の発生量は「多い」予報です。地域ぐるみで水田内の雑草対策や畦畔及び農道等の草刈りを励行し、斑点米カメムシ類の生息密度低下に努めましょう。

葉いもちの発生量は「平年並み」の予報です。圃場をしっかりと観察して、早期発見、早期防除を徹底します。

つや姫 の生育と技術対策

6月25日現在の「つや姫」の生育は、平年と比較して、草丈は長く、莖数、葉色は平年並み、葉数はやや多くなっています。

多くの圃場で有効莖数（内陸：410本/m²、庄内：440本/m²）は確保されていると見られます。直ちに作溝・中干しを行って無効分げつの発生を抑え、穂肥がしっかり行える稲姿にしましょう。葉数はやや多く生育が進んでいるため、生育状況をよく確認して、穂肥のタイミングが遅れないように注意しましょう。

「つや姫」の生育（6月25日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈 (cm)	48.4	43.1	112 長い
莖数 (本/m ²)	515	511	101 平年並み
葉数 (枚)	9.1	8.7	0.4 やや多い
葉色 (SPAD)	40.9	41.7	-0.8 平年並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

6月30日生育指標

項目	内陸	庄内
草丈 (cm)	48	45
莖数 (本/m ²)	500	540
葉数 (枚)	9.3	
葉色 (SPAD)	40	

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう！

農薬危害防止運動実施中

